**大村ロータリークラブ週報**

2021～2022年度　　No.28

令和 4年 5月 17日　発行

（通算例会　3011回）

会長　竹房　政美　幹事　田原　範隆



回）

事務所：大村市東三城町１２－１（和光マンションＤ）TEL:0957-42-6192/FAX：0957-42-6193

例会場：長崎インターナショナルホテル　毎週火曜日　12：30～（但し　第4火曜日　於：梅ヶ枝荘・いけす割烹寿楽）

2021年～22年度　国際ロータリーのテーマ

**『奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために』**

RI会長　シェカール・メータ

2021年～22年度　大村ロータリークラブのテーマ

**『奉仕の意義を探求し、風通しの良いクラブ作りを目指そう！』**

**会長の時間　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　5月10日**

　みなさん、こんにちは。今日のメインプログラムは、新進気鋭の新入会員である木戸川君、西畑君による新入会員卓話となっております。先月入会式を終えたばかりですので、新入会員卓話は早すぎるのではないか、と思われた方もいらっしゃるかとは思いますが、少しでもお二人の生い立ちや人柄、趣味などを会員の皆様に知って頂き、お二人が１日でも早くクラブに馴染むきっかけになればと思い、会員増強委員長の鶴田君にお願いをして本日に至りました。木戸川君、西畑君、楽しい新入会員卓話を期待しております。

それと本日は、**昭和42年５月10日に入会**され、**今日の５月10日でクラブ在籍55年の偉業を達成された木下君**からご挨拶を頂戴することになっております（木下君、後程宜しくお願い致します）。

さて、大型連休のゴールデンウイークは終わりましたが、皆様どのように過ごされたでしょうか。私はと言いますと、今週末から東北に行きますので、コロナに感染する訳にはいかない、と思いまして遠出は避けて、実家のある福岡県の八女市に１日だけ行って来ました。まずは、中学時代まで育ちました黒木町の**「大藤まつり」**に行ってみました。事前調査もせず向かったわけですが、**３年連続で「大藤祭り」は中止**ということで、見物客はまばら、しかも、私が行ったのは５月３日でしたから、ほぼ藤の花は散ってしまっている状況でした。来年こそは、樹齢600年超の大藤が、１メートルを超える紫色の房を満開にしているのを久々に見たいと考えています。大藤の見物は空振りに終わり、その後、中学時代にヤマメ釣りを楽しんだ、さらに山奥の笠原地区に移動して、久しぶりに**県指定の天然記念物**とされている**霊厳寺の奇岩**、**珍宝岩**（これは珍しいに宝の岩と書いてチンポウ岩と読みます、別名：男岩）を眺めてきました。有名なパワースポットとしても知られ、見られたことのある方は、「ああ、あれか！」

と思われるでしょうが、見られたことの無い方にはなかなかイメージが沸かないと

思います。写真をたくさん撮ってきましたので、何枚かを週報に載せたいと考えて

います。さらにその後、笠原地区から山越えをしまして、私が生まれた**星野村**へと

向かいました。天気も良く、星野村の**池の山キャンプ場**は賑わっていましたし、**シ**

**ャクナゲの花**も見頃だったようです。私は、星野村を流れる星野川の上流域まで行

きまして、こちらも久しぶりに**エノハ荘**という**ヤマメの養殖場と釣り堀**がある民

宿へ行ってみました。綺麗なヤマメが釣り堀の中をウジャウジャ泳いでいる様子

を久しぶりに見ましたが、やはり生き物には心が癒やされるものがありました。

そして、今週末から今年度最大のクラブイベントである**東北交流事業**に、総勢

16名で向かいます。仙台宮城野クラブさんとの**地区補助金**を活用した**「オオムラ**

**ザクラの植樹事業」**については、４月12日の例会で概要を報告しました。一方、

角館クラブさんとの**「稚鮎放流事業」**については、**「ロータリー奉仕デー」**の一

環として行うものです。**「ロータリー奉仕デー」**については、本年度ＲＩ会長の大きな優先的事項とされておりまして、その要件の１つに、**「参加者の少なくとも25％は、現ロータリアン以外の地域の人々に参加してもらうこと」**とされています。稚鮎の放流場所は、**角館小学校裏手の桧木内川堤**ということもありまして、**「仙北市教育委員会」**の後援も得られましたので、当日は**角館小学校の児童と保護者**にも参加を呼び掛けております。現段階において、当日の天候が心配ではありますが、「**ロータリー奉仕デー」**の一環として**「稚鮎放流事業」**が実施出来たならば、**「ロータリーの友」**に寄稿する予定でおりますし、皆様にも事業報告をしたいと考えております。

以上、本日の会長の時間を終わります。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以　上

5月10日の催し**～ 雑誌の時間⑧　ロータリーの友5月号より ～**

森本　英敏

　皆さんこんにちは、早いもので今年も三分の一が終わりまして、若葉青葉のさわやかな5月となりました。朝起きて、我が家の小さな庭で空気を腹いっぱいに吸い込んで、余韻に浸る幸せを満喫しております。さて皆様もご存じのとおり、先月の29日昭和の日に春の叙勲で我が会員の石坂君が,旭日双光章を拝受されました。又同日、為永君が海上自衛隊第22航空群、群司令より防衛功労章として感謝状を授与されました。ここにお二人に敬意を表したいと思います。誠におめでとうございます

　少し前置きが長くなりましたが本題に入ります。

今月は**『青少年奉仕月間』**ですが、横軸の表紙をめくって5ページにRIのシェカール・メータ会長のお言葉、（みんなが一人を入会させよう）尚、入会させた会員の、維持にも力を注ぎましょう。当会に新しく入会されました木戸川君、西畑君ロータリアンで、解らない点は先輩にお聞き下さい。親切に対応してくれるはずです。

又、平和を羨望してきたのに、2月にロシアのプーチンが突然ウクライナに侵攻、避難するウクライナ人にロータリーが何百万ドルの多大の支援金が寄せられ感謝されているとの事です。住む場所を奪われた人を間近で見るのは、とても心が痛むものです。

そして14～22ページにわたり『ウクライナ危機の中で強まる決意』と題し特集記事が組まれています。（過去と現在の紛争は、会員増強を遂げたウクライナのロータリーに大きな影響を及ぼしています）2月に突然勃発したロシアの侵攻による戦争は、今時このような事がおこるなんてと、世界中が憂慮しています。目的も定かではなく、いきなりの殴り込みで、住居は破壊され、ミサイルの雨あらしの中で逃げ惑う人々の様子を見るに、ロシアのプーチンの蛮行が目に余ります。3000万人以上の人が祖国を追われ、子供、学校、病院、協会、とにかく所構わずの程です。一方ではロシア兵の野蛮な虐殺、凌辱等、やりたい放題です。

16～18ページにわたり『ウクライナの危機、歴史のまとめ』拝読ください。このロシア、ソ連は、スターリン、レーニン時代から75年前の終戦後に日本と不可侵条約を破り満洲に、特に葛根廟（かっこんびょう）事件老人婦女子1300人の内1000人以上に襲いかかり、輪姦、凌辱、虐殺等皆殺し、北朝鮮との国境の町、通化では約2500人が虐殺死体は川に捨てられた。北朝鮮では26000人が、殺害、自殺、餓死等。モンゴル僻地の開拓団は逃避中の難民に襲いかかり略奪暴行、殺ばつと一時に200人以上が殺された。21開拓団の内7開拓団は全滅したとあります。

一方、南樺太は（民間人約3700人）及び致千島列島の最北端占守島（しゅむしゅ島）さらに北方四島等、日本人に対して婦女子に対する凌辱限りを突くし、こうして満州では20万人以上、さらに日本兵役60万人を零下40度近くのシベリヤに連行し、丸太小屋の中と粗末な粥の様な食事で森林伐採に従事させられ地獄の程の中で、約15万人が遠い異国の地で帰国を夢見ながら露と消えられたことを忘れてはいけません。

さて、戻りまして**『青少年奉仕月間』**特集として5～13ページにわたり『若年化する薬物パンデミック』と題して、薬物乱用の為20歳以下の青少年が、昨年は警察摘発者の約7割超える恐るべき大麻事犯が994件と、若者の間の薬物使用が深刻化している。乱用されるおもな薬物としては、①覚醒剤(シャブ、S、スピード等の隠語)②コカイン(コーク、C、ホワイト等の隠語)③MDMA・MDA(エクスタシー、罰、エックス等の隠語)④大麻(マリファナ、ガンジャ、葉っぱ等の隠語)⑤LSD(ペーパー、紙、アシッド等の隠語)等があり、国家を滅ぼす重大事です。又、一方では芸能人にも蔓延している状況の様です。詳細は拝読ください。

さらに縦組み4～8ページには**『低年齢化する子供のメディア漬け』～2歳児問題～**

題して、増田クリニックの院長の講話が連載されています。要約すれば２歳児ごろからネット、ゲーム及びスマホ等メディア等の問題でゲーム障害となり満足な睡眠が取れず、不登校、親との触れ合いが少なく精神異常をきたすとの事。

さらに**『スマホが2歳児に与える影響』**として、スマホが乳幼児に与える影響は①アイコンタクトとスキンシップの減少⓶睡眠が障害されている。③イライラしやすくなる。④脳の発達の遅れ⑤言語発達の遅れ⑥社会性が育ちにくくなる⑦注意力の低下等が挙げられますと。アイコンタクトとは父母が赤ちゃんの反応に対し目を見て話しかけたり、あやしたり、抱っこしたりして応答することと話しておられます。幼い子供をお持ちの会員の皆さん熟読下さい。終わります。　　　　　　　　　　　　 以　上

**ロータリー在籍55年記念卓話**

木下　一功

石坂和彦君の旭日双光章おめでとうございます。素晴らしい偉業を成し遂げられましたことに敬意を表し、お祝い申し上げます。

くしくも今日この日が、ロータリー在籍55年目の入会記念日です。55年間の思いを、限られた時間ではありますが、新入会員の方にも分かるように精一杯話してみようと思います。

1967年(昭和42年)5月10日の入会でした。ロータリーに関心があったからではなく、大先輩の強い勧めで、入会させられたように思います。

私は28才でした。周囲を見まわすと、同年代の人はいないし、父親みたいな、偉い人が大勢いて、大変なところに来たものだと感じました。もしあの時、ロータリーへの入会を勧められていなかったら、今の私はなかったかもしれません。それは偶然であり、それでいて必然としか思えないような、まさに運命的出会いであったと感謝しています。

　入会4年後の事です．第12代故中尾博一会長の幹事を引き受けるように要請されました。まだ若輩者で勉強不足から、父親のような大先輩の方々からは、こっぴどく叱られたことをよく覚えております。叱られたからこそ、自己練磨が出来ていったように思います。

1979年(昭和54年)第20代故高松信夫会長の幹事を要請されました。角館ロータリークラブと姉妹クラブを創ることが、大きな記念事業であることを告げられました。その頃はどこに角館があるのかも知りませんでした。紆余屈折を経て、翌年の2月23日角館クラブと姉妹締結、調印書交換が大村商工会議所で行われました。調印時の角館のロータリアンは今はなく淋しいです。この頃からロータリーの事業をまかせられる様になったと思います。

皆さんは、自分の人生について考えた事がありますか。如何でしょう？

私はロータリーを学んでいるうちに**「私は何のため生まれてきたのか」「人生は何のためにあり、人間は何のため生きるのか」**とか、未だ私自身が**「問い」**続けています。どうも、真の人生の目的は、**人間性を磨くために**、あるように思います。日本のロータリーの創始者米山梅吉は、その事を**「心の練磨」**であると表現しています。　つまり、人間性を高め、素晴らしい人格を身につけることであり、その心の高まりから、**利他の心**を育てるために、この世に生を受けたのではないのかと。言っているように思います。

人間性を磨くために、**天が与えてくれた道であり、ロータリー人生55年の究極の目的**ではなかったのか。それは、人間の一番大事な私の人生哲学であったと思います。

先達から学んだ印象的な教えがあります。

ロータリー奉仕の原点である人間の生き方は**「いかに喜ばれる存在になるか」「いかに喜ばれるように生きたか」**が生きる目的ではないでしょうか。本当に喜ばれる存在になったら投げかけたものは必ず返って来ます。ロータリーの本質は**「最もよく奉仕するもの、最もよく報いられる」**であります。「奉仕者が受益者」なのであります。人に喜ばれれば、喜ばれるほど自分の人生は豊かになるのではないかと思うようになりましたどうしたら「喜んでもらえるか」と言うことに、全エネルギーを集中すると、必ず結果は出るのではないでしょうか。そして多くの素晴らしい友人に出会ったことです。友人は有難いものです。

自分を磨くためには、友達との接触が必要なのです。お互いが学び合うことだと思います。**人は人の中で、人を見ながら育つものであり、人は人によって伸びていくのです。まさにロータリーの例会出席等は、人に会うためであり、自分の成長のため**だと思っています。

　何度か紹介しましたが、新入会員の皆様は、耳を澄まして聞いて下さい。ロータリーの創始者ポール・ハリスの有名な**「人生訓」**からです。

私達の目的は何でしょうか。学ぶことであります。

 何を学ぶのですか。人生を学ぶのです。

　人生の何を学ぶのですか。人生から学ぶのは、ただ一つのことです。

　人生を送る中で、いかにエゴ(自我)と決別することを学びます。

含蓄のある人生訓であり、自からを戒めて、奉仕の心を学んでいかなければならないと思っています。

　55年の間に、いつしか心の中にすっかり染み付いてしまったのはロータリーの創始者ポール・ハリスのロータリー精神です、**「他人の身になって考える思いやりの心」**がロータリー思想の原点であり、個人生活、社会生活、事業生活等々に適用し、実践して、生きていきたいものです。**「思いやり」**は最も古くして、最も新しい人間に与えられた、永劫普遍の人生哲学であり、また人間科学であると思います。

ロータリーに授けられた最大の贈り物は、**“変える力　違いをもたらす力”**であると宣言しています。　ロータリーには生き方を変える力があるのです。ロータリー奉仕哲学は、その原理原則を理解しなければ、例会出席や親睦だけではロータリーの功徳を、享受することは出来ないと思います。諸々の本も沢山あります。「自己を磨く」(卓話集)でも良いし、ロータリーの友もあります。読書によってロータリーをもっと学んでほしいと、大先輩達は教えています。教育哲学者の林 竹二氏は**「学んだことの、たったひとつのあかしは変わるということです」**と言っています。

　ご高齢で登山家の講演を聞いて、大いに発奮したものでした。平成22年3月、50周年記念講演をお願いした、80才でエベレスト登頂に成功された三浦雄一郎さんの、言葉が今も忘れられません。**「元気だから登るんじゃない。登るから元気になるんだ」**つまり**挑戦**するから、元気になると言うことです。そして**「人生は、いつも今から」**の言葉がすごく印象的でした。

偉そうなことを申し上げましたが、私の理想でもあるからです。**大村クラブの同志諸君！今からですよ。**在籍年令に関係ありません。ロータリーの人生道場に挑戦して、人生を生き抜くための、**方法論**と**実践論**を学び、ロータリーを楽しもうではありませんか。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以　上

**新入会員卓話①**

木戸川　繭子

　皆様こんにちは。先月4月に入会させていただきました、武田呉服店の木戸川繭子と申します。入会をお許しいただいてから一ヶ月、皆様に毎週の例会では温かいお声をかけていただき感謝申し上げます。

　私は生まれも育ちも大村です。

私の祖母は明治生まれで若い時より機織の修業をしていた経験があり、とても手先が器用な女性でした。現在の自宅付近の場所に機織りの工場があり、父が小学4年生の頃、引き継ぐ形で諫早より大村に参りました。その当時は、小学生が社会科見学に来ていたそうです。

私の名前の「繭」は、普段目にされている着物は染める前の生地は白い色をしています。その元は幼虫の蚕が糸を吐き出して出来た繭から絹糸を取り出して機で織り白生地が出来上がります。昔田舎では蚕を飼っていた家庭が多く父も子供の頃、蚕が桑の葉を食べる音で目が覚めることがあったようです。家業に因み、子供が生まれる前から女の子には「繭子」と名前をつけることは祖母が決めていたようです。

祖母はその当時、機織りから生地を京都で別染めをするようになり、呉服店の前の「武田京染店」を営むようになりました。

　父が京都より5年の修業を終え、昭和54年に現在の本町に「武田京染店」より「武田呉服店」として店舗を構えるにあたり、準備を始めようとした年は、私が産まれ、祖母が病で倒れ、その後弟をお腹に抱えて母はギリギリまでお店で働き、父も母も色んなことが重なりバタバタの中、私は一歳になる前に保育園に通うことになりました。両親の救いは、私は泣きもせず、日曜日まで保育園に行こうと準備をしたり、先生が目を離した隙に滑り台に登ったりと保育園ライフを誰よりも長く楽しんだ後、小学生の頃は陸上、バレーボールに熱中する活発な子供でした。

高校を卒業後、人情味溢れる大阪で4年間の学生時代を過ごし、東京での2年弱を過ごした頃、お店の事務員の退職により、大村へ帰ることとなりました。

　父の時代の全国の後継者は京都の染元に修業に集まっていましたが、私は一切その様な勉強はしておりませんので、なんの知識もありません。子供の頃より簡単に浴衣を着れる程度・・・お店に入り、まず、お客様のお名前とお顔、商品を覚えることからスタート、事務の仕事の流れを母から習い、同時にこの仕事に役に立つことは・・・と自分でしっかりと着物を着れるように、母には習わずに着付けを長崎の先生に指導を受け、茶道のお稽古を地元の先生に習いに行くことを始めました。

　呉服の仕事についてから祖母の代から続いているお客様も多く、40～50年前に当店で別誂えしてお作りしたものをお持ちになられることもあります。現在の日本の伝統工芸品である着物に携わる職人はずっと以前より高齢化が進み、後継者のいない中で、出来なくなっている技術も沢山あります。それは、需要の低下、インクジェット、海外商品色々な問題を抱えつつも、それぞれの専門の職人さんにアドバイスを日々受けながら、ベストな方法をご提案出来ればと京都との絆を継続しております。

この様に何十年も前に祖母や父の時代にお買い上げ頂き、次の世代の方が袖を通すことになり、商品に手を加えたり、仕立て替えをする、今でいうリユースを受け、着物を解いてみるとその当時の染元の技術、仕立て方でどなたが縫ったのかなど、改めてその職人さんの仕事を目の当たりにします。当店より商品をお客様にお出ししていることに「責任」と「喜び」を感じる瞬間です。そして、何より人生の大先輩であるお客様より教えていただくことが沢山ありました。

仕事では色々な失敗をしながら、自分なりに思い悩みながら、周りの方の助けと共に少しづつ仕事に慣れ始めて10年した頃、美容師の大先生に着付けの勉強にお誘い頂き、人様へのお着付けを勉強してみようと仕事が終わってから諫早に通うことになりました。美容のプロの職業の方に習う着付けはこれまでの視点とはまた異なりとても勉強になりました。そこでは、最終的にコンテストに出場することとなっており、それに向けて時間内に綺麗に仕上げるためにストップウォッチ片手に練習を毎日のように繰り返していました。その後、大先生について、当店のお客様以外のお着付けに初めて立ち会わせて頂いた時の緊張と大量の汗、そして思うように出来ない落ち込む私に、何十年もの間、数知れない花嫁を作ってきたベテランの大先生の言葉が「私も今まで一度たりともよく出来たと満足したことはなく、だからずっと勉強できる」との言葉をかけて頂きました。この言葉をかけられた時、今始めたばかりで何一つ完璧に出来る事もない段階で落ち込む自分が恥ずかしいと反省し、少しでもお客様のお役に立てるようになるプロの道は厳しいと痛感しました。

　そして、私が仕事と同じく続けているお稽古事が茶道です。茶室に入り「ただ一服の美味しいお茶をひたすら点てること」それだけの為に見えないところで沢山の準備をします。最初は何をしているか解らないまま、先生の厳しいご指導を受け「亭主とお客様、それぞれ相手の立場になって考え振る舞うこと」を基本のお稽古を通して、繰り返し教えて頂きました。

お稽古を始めて10年を迎える頃、大村の茶道会よりお役を受け、長崎に出向くこととなり、同世代の方々との中で自分の力不足をここでも痛感し、とても勉強になった3年間でした。そして、更に10年が経った今、一つの目的に向かいそれぞれの役割を果たせる様、お互いを気遣い、同じ時間を過ごせる様にと励んでいます。毎週、お稽古に入る時、普段の慌ただしい生活から自分自身を見つめ直す時間として、先生のお話を聞いたり、お稽古の中での自分の振る舞いを普段の自分と照らし合わせて、自分の仕事にも何か役立てたいと思っております。

　前回の例会で、会長のお話に例会出席が奉仕への第一歩とのお言葉に入会したての私が毎回諸先輩方のお話をお聞きし、まず出席することから、何か社会に対して任務と義務を果たせる人間になれますよう皆様とのご縁に感謝し、大切にして参りたいと思います。

因みに私の小学生の頃の夢は多忙な両親を旅行に連れていきたいと思いキャビンアテンダントになりたかったのですが、英語が得意でないと気付いた時点で早々に諦めた私は、現在、呉服の仕事に携わり「武田呉服店」で日々頑張っております。

　日本の民族衣装に携わるものとして、まだまだほんの駆け出しでございますが、地域の皆様のお役に立てるよう、また喜んで頂けるように日々、自分自身を磨き、努力して参りたいと思っております。これから、先輩であられる素敵な女性会員の皆様に少しでも近づけますように・・・皆様ご指導の程、どうぞ宜しくお願いいたします。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以　上

**新入会員卓話①**

西畑　直

　皆さんこんにちは。新入会員の西畑直です。

まずは、いつも例会時に弊社施設ゆの華をご利用いただきましてまことにありがとうございます。今後ともご愛顧よろしくお願いします。また、来週の例会時の軽食はカツカレーを予定していますので楽しみにしていただければ幸いです。

大村ロータリークラブに入会して早１ヶ月が経ちました。改めまして、入会を認めていただきありがとうございます。ようやく、皆さんのお顔とお名前が一致してきたところではありますが、まだまだセレモニーなどはたどたどしく参加させていただいております。早く要領を覚えていきたいと思っておりますので引き続きご指導ご鞭撻をよろしくお願いします。

さて、本日は新入会員卓話ということで、10分という短い時間ですが、私自身の生い立ち、人となりをお話したいと思います。

私は、昭和53年8月12日に福岡の病院で誕生しました。当時は母の両親が福岡に在住したいたためであるようです。その後は、大村で育ち、星美幼稚園、三城小学校、大村中学校と進学しました。ここで運命的な出会いがあり、当会の会員でもある烏山君と同窓となりました。当時は、もう一人仲の良い友人がいまして、いつも３人で、今思えばバカバカしくも楽しいことを真剣にしていました。教師の方々からは「三羽烏」と呼ばれており、若干問題のある生徒だったと記憶しています。夜な夜な私の家に集まっては、当時流行っていたシュミレーションゲーム「信長の野望」をしてみたり、深夜徘徊をしてみたりで、親には心配をかけていたようです。特に烏山君の母親には、西畑はうちの息子を悪の道に引きずり込む悪の権化と認識されていたのではないかと、自分が親となってみて思っています。現在は皆さんご存知の通り、烏山君とは暑苦しいくらいの仲ですが、実は、この中学2年の2学期からだったか3学期だったか記憶が定かではないのですが、そこから15年以上言葉を交わさないという仲違いをしていました。原因は些細なことで今では笑い話ですが、大人になってからまた親友に戻ったという感じです。高校は、私も烏山君も大村を出たので接点が尚更無かったということもあります。そこから、私は母の熱烈な勧めもあって、青雲高校に進学しました。中学当時の成績は学校内では無双状態で、かなり自惚れた状態で高校へ進学しましたが、高校入学と同時に井の中の蛙であることを気づかされました。高校には県内外から猛者たちが集まってきており、難解な問題を見るとヨダレを流しながら喜んで解答に取り掛かるような変態的天才がいたりで、とてもじゃないが自分は天才ではなく凡人であることを認識させられました。成績は下の上ぐらいを行き来しており、将来なにをしたいのかという明確な目標もなく卒業が迫っていました。当時は漠然と化学が好きだったこともあり、関西弁に変な憧れもあって、大阪府立大学の応用化学科に進学しました。大阪で一人暮らしが始まり、大学生活が始まったわけなのですが、そこで、本当にこれでよかったのかという考えが出てきました。一念発起し夏過ぎには、大学を退学し、長崎に戻ってきたのはよかったのですが、将来の展望もなく、無為無策に過ごしていました。アルバイトをしてみたり、出稼ぎにいってみたりとしましたが、なかなか目標が定まりませんでした。父が家業である砕石業で生業を立てていたのですが、オーナーではなく、私も跡取りでもなかったので、母は私を医者にしたかったようですが、自分でもそこまでは届かないなと悟っていましたので、家業の砕石に関係することを勉強してみようと思いたち、九州大学工学部に入学することができました。ここでは、都市工学であったり、資源工学であったりを学んでいたのですが、、、なんと！大学に６年も通った挙句に卒業を諦めて退学してしまいました。この６年間の詳細については、１日あっても足りないくらいのボリュームになりますので、本日は割愛をさせていただきます。ですから、私の最終学歴は高校卒業となっております。（大学中退とも言いますが。）これも自分が親になってからしみじみ感じるのですが、大学を２回も辞めた子供を許してくれて、父、母には感謝しかありません。その後、旭砕石株式会社の社長となっていた父からの勧めもあって、会社に入社を許されました。この時点で父は社長ではありましたが、西畑家では７人兄姉の末っ子でありオーナーではありませんでしたので、私の入社に際しても、「おまえは跡取りでもなんでもないんだから、裏方に徹すること。」と厳命されていました。当時の会社は、ここサンスパおおむらのサービス部門、東彼杵の生コン部門、外海の砕石部門とありましたが、旭砕石株式会社の社名からわかるかと思いますが、祖業は砕石でありましたので、砕石部門をしっかりと一から勉強してこいということで、外海工場に配属されました。大村からは大村湾を挟んで反対側の更に外洋寄りの外海への通勤の始まりとなりました。実際に砕石場で働いてみると、様々な大型重機や、ダイナマイトを使っての岩石掘削に魅了されました。すぐに必要な各種免許、資格を取得し、砕石業というものを身に付けていきました。毎日楽しかったのですが、父は非常に厳しい人間でしたので、給与の面については、残業というものを認めてくれず（この処遇は私だけということを注釈しておきます。）入社来２年間は手取り１２万７千円だったというのが不満には思っていましたが、実家に住ませてもらっていましたし、パッと出の一族の入社であったのですが、従業員からは一目置かれる存在となれた要因になったのかなと、今では感謝しています。

母の願いであった「医者」にはなれなかったのですが、一端の「石屋」にはなれたと思います。飲み屋さんで職業を聞かれた際は、「いしや」（「や」はなるべく小さく発音）と答えるようにしています。

現在、私は旭砕石株式会社の代表取締役となっていますが、社内体制の変化があり父が実質的オーナーとなったためです。父が常日頃言っている「会社は預かりもの」という言葉の意味をしっかりとかみしめて、私も次にバトンタッチできるように、しっかりと経営していきたいと思っています。

さて、スーパー駆け足で、誕生から現在までをお話ししましたが、やはり10分ではとてもじゃないですが詳細は話せませんでした。烏山君との大人になってからの劇的？な再会の話であったり、当会会員でもあり義父でもある中島悟さんの長女舞さんとの出会い（お見合いと思われている方が多数いらっしゃると思いますが自然恋愛です。）から結婚までの話など、続きはWEBで、、、ではなく、興味のあられる方には、いろいろな機会をとらえてお話しできればと思います。一つハッキリと言えることは、私は人見知りが激しいということです。大変無礼で申し訳ないのですがなかなか自分から話しかけるということをしませんので、どうか私を見かけた際には、「やぁ」と声をかけていただければ喜びます。最初は感じ悪い応対をするかもしれませんが、慣れるとめんどくさいぐらい懐きますので、ご容赦を。

最後に、本日は、卓話の時間をいただきありがとうございます。皆さんとの仲を深めて、奉仕の理念を実践できるように努力していきますので、今後ともどうぞよろしくお願いします。ありがとうございました。

◆◆◆本日のプログラム◆◆◆

米山記念奨学生のご紹介・米山記念奨学金授与、新大村駅見学

◆◆◆次週(5/24)の予定◆◆◆

**菖蒲例会**

5月10日の催し

【四つのテスト唱和】為永　淳子君

【2021-2022年度大村RCテーマ唱和】

【誕生日のお祝い】

　中瀬　和隆君　酒井　美克君　渡邉　雅大君

　渡海　昇君

【雑誌の時間⑧】森本　英敏君

【在籍55年挨拶】木下　一功君

【新入会員卓話】木戸川　繭子君　西畑　直君

【出席率発表】山田　昌登嗣君

【ニコニコBOX】片岡　敏明君

≪ゲスト・ビジターのご紹介≫　該当なし

≪会員数≫ 42名　出席者数 36名　出席率92.3％

出席率(4/19)92.5%

≪欠席者≫ 芦塚君　野島君　渡邉君

≪免除者≫ 荒木君　小又君　西川君

幹　事　報　告

■　行事予定

【クラブ】

・5/24(火)菖蒲例会

・5/31(火)19：00～ 第3回理事予定者会議＠サンスパおおむら小会議室

・6/26(日)10：45～ 大村RC親睦ゴルフコンペ＠大村湾カントリー倶楽部

【地　区】

・5/21(土)、22(日) 第14回全国RYLA研究会＠ZOOM

・6/15(水)18：00～20：30 新旧ガバナー補佐交代式及び懇親会＠ホテルニュー長崎13F桃林

■　例会変更案内

【雲仙RC】

例会変更

5/21(土)⇒10：30～＠雲仙市小浜町雲仙

※清掃作業の為

　今後6月の例会は第1・第3土曜日の例会

■　来　信

≪ＲＩ/日本事務局より≫　該当なし

≪地区/各ＲＣより≫

・ハイライトよねやまvol.266

・次年度地区委員長へガバナー月信第2号執筆依頼

■　印刷物拝受

・第2740地区奉仕活動事例集

・ガバナー月信vol.11号

・週報：大村北RC

■　他団体よりの案内　該当なし

■　その他

・**5月30日(月)**  **菖蒲例会費・R手帳代** をご指定の口座より申し受けます。口座残高のご確認を宜しくお願い致します。



**ニコニコBOX（5/10）**

**竹房君・田原君**：新入会員卓話、木戸川君、西畑君よろしくお願いします。木下君、在籍55年おめでとうございます。雑誌の時間、森本英敏君よろしくお願いします。誕生日を迎えられた皆様おめでとうございます。**5**

**生野君：**木下さん本日をもって55周年雲の上の存在です。おめでとうございます。木戸川君、西畑君新たな風を吹き込んで下さい。改めてよろしくお願い致します。SAAのくせに遅参しました。お詫び申し上げます。**1**

**石坂君：**妻薫の〇〇歳の誕生日の祝いありがとうございます。木下一功君のロータリー55年の大偉業誠におめでとうございます。雑誌の時間森本英敏君、よろしくお願いします。木戸川繭子君、西畑直君の卓話楽しみです。**5**

**太田君：**お誕生日の皆様おめでとうございます。木下在籍55年、素晴らしいです。今後、60年、70年と記録を更新していって下さい。木戸川君、西畑君新入会員卓話素晴らしかったです。お疲れ様でした。石坂君「旭日双光章」受賞おめでとうございます！！心より尊敬致します。**3**

**大塚君・宮本君：**木下君の在籍55年おめでとうございます。木戸川君、西畑君素晴らしい新入会員卓話ありがとうございました。**2**

**帯屋君：**妻の誕生日を祝っていただきありがとうございます。**2**

**木下君：**石坂和彦君の旭日双光章大変おめでとうございます。**2**

**酒井君：**家内と共に誕生日を祝っていただき。**5**

**伊達君：**木下君在籍55周年おめでとうございます次代のロータリアンのため益々のご指導をお願いします。**1**

**為永君：**木下一功君、ロータリー在籍55年おめでとうございます。すごい事ですね！お誕生日の皆さん、ハッピーバースデー。新入会員の木戸川君、西畑君の卓話、楽しみです。石坂君、旭日双光章受賞おめでとうございます。**1**

**鶴田君：**木戸川君、西畑君新入会員卓話よろしくお願いします。石坂君「旭日双光章」受賞おめでとうございます。**1**

**渡海君：**誕生日のお祝いありがとうございます。**2**

**中瀬君：**石坂君の栄えある旭日双光章受賞おめでとうございます。更なる飛躍をお祈り致します。木戸川君、西畑君の卓話楽しみです。誕生日祝いをいただき感謝！**3**

**俣野君：**木戸川君、西畑君の新入会員卓話お二人の人となりがうかがえました。今後共よろしくお願いします。石坂君の叙勲の栄に接して本当におめでとうございます。**2**

**森本英君：**木下先輩55周年本当に永い間在籍され頭が下がります。又、先日29日石坂君が春の叙勲で旭日双光章の拝受、そして同日為永君が会場自衛隊第22航空群の群司令の感謝状表彰両人とも誠におめでとうございます。誕生日を迎えられた方誠におめでとう。**1**

**小計35,000円　合計658,100円**



**四つのテスト**

**1．真実かどうか**

**2．みんなに公平か**

**3．好意と友情を深めるか**

**4．みんなのためになるかどうか**

言行はこれに照らしてから